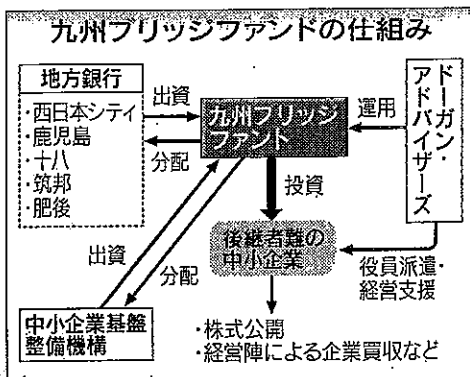


加速する M&A

第3部 事業承継、技術つなぐ

中小企業の実業承継を継ファンドができない商機ととらえて熱視線を「か」。中小企業支援の独送っているのが地域金融機関だ。地元で張り巡らした情報網で企業や人材を紹介し、相続や税務の相談に乗って手数料収入や投資収益を稼ぐ。地域金融機関は新たなビジネスと位置づけ、中小企業のM&A(合併・買収)の仲介に力を入れている。

「中国地方でも事業承継が必要になった」からだ。後継者に資金が不足して



地域資金でファンド構想

いる場合、ド」。西日本シティ銀行「援するドーガン・アドバンス」を通じてなら投資ファンドが「など九州の地銀五行と中イサーズ(福岡市)は、できるチャンスが広が」一時的にオ小機構が総額四十八億円企業から呼ばれば担当る」と見る。ナーの保を出資して設立し、すで者がすくんに駆けつける。

有株式を買二社に投資した。投資森大介社長は「地銀も含一方、各金融機関が今い取る。会対象は成長性の見込めるめて地元マネーという安力を入れているのはM&社を存続さ九州の企業で、期間は最心感が利点だ」と指摘。A仲介による事業承継支せ、ファン長で十年にわたる。特徴すくに売却して値上がり援だ。広島信用金庫(広ド運営者がは出資した地銀だけだな益を狙う大手ファンドと島市)など広島県内の四信金は昨年にM&A仲介業務で提携し、それがれの仕事が私情が入らず、スムーズに話ができる」と金融機関の役割を評価する。

中国銀行の仲介で株式を日本植生グループ本社(岡山県津山市)に譲渡した原岸(岡山県倉敷市)の原岸郎社長(当時)は「専門家が入った方が私情が入らず、スムーズに話ができる」と金融機関の役割を評価する。

金融機関、仲介で稼ぐ

九州ブリッジファンドの仕組み

地方銀行
西日本シティ
鹿児島
十八
筑後

九州ブリッジファンド

アドバンス

運用

投資

後継者連の中小企業

役員派遣・経営支援

出資

分配

出資

分配

中小企業基盤整備機構

株式公開・経営陣による企業買収など

事業承継ファンドは中する仕組みだ。先行事例は九州地方で「オール九州体制」だ。このファンド運営会社で投資先企業の経営を支

福岡県が本拠の企業とい「オール九州体制」だ。このファンド運営会社で投資先企業の経営を支

中国地方でも広島銀な業情報を共有する。後継の有力地銀が「事業承継者のない企業の売却交渉」をすすめており、九月ま

「中国地方でも事業承継が必要になった」からだ。後継者に資金が不足して

広島

広島 082-244-1155
山 084-932-1334

